

第8回「ゆめづくりまちづくり賞」(優秀賞)

誇りをもって、楽しく、生き生きと暮らせるまち 園田北 〈兵庫県:園田北社会福祉連絡協議会〉

「誇りをもって楽しく生き生きと暮らせる園田北」を目標に、住民のニーズや地域課題を把握するアンケートを実施し、その解決のため、①明るくきれいですみよいまち(バリアフリーのまちづくり等)、②助けあい、支え合いのまち(防災訓練・避難訓練、高齢者・こども見守り、健康学習・健康体操等)、③にぎわいと潤いのまち(もちつき大会、都市と農村交流等)、④自然と歴史が織りなす街(万葉コンサート、歴史ウオーク等)など、多様な取り組み実施している。1団体だけでなく、自治会・老人会・婦人会・子供会などの団体と企業・学校・行政などが協働し、多様な分野においてまちづくりを展開しており、地域住民が選択的に参加できる仕組みとなっている。

また、「万葉の森・佐璞丘再生プロジェクト」を設立し、外来種の伐採等を通じて地域の貴重な森を再生するとともに、子供を対象とした忍者学校(当該地はアニメ「忍たま乱太郎」の聖地)を開校し、地域の歴史や自然を学ぶなど工夫が見られる。



「忍たま乱太郎」にちなんだ忍者教室



万葉の森・佐璞岡プロジェクトによる森林再生



避難訓練

第8回「ゆめづくりまちづくり賞」（優秀賞）

みんなで取り組む、薬草とハーブの里のピザハウス

＜奈良県：平原区自治会 平原区むらづくり委員会＞

耕作放棄地が増えつつある現状を打破するため、江戸時代には薬園があり薬草栽培が盛んであった事に注目し、「みんなで楽しみ、うるおう、薬草とハーブの里」を合い言葉に、ハーブ栽培を行っている。また、栽培したハーブを活用したハーブティやピザを開発し、コンテナハウスを利用したピザハウスにおいて販売するなど、産業の創出に至っている。全員が参加できる体制で進める工夫があり、収穫の担当は若手男性、ハーブティの加工は老人会、ピザハウスの運営は若手女性と、それぞれができることを見つけて分担している。

会話をしながら作業することで、世代を超えた子どもから高齢者まで交流が深まりコミュニティや生きがい創出されるだけでなく、地域が誇れる資源を活用することにより、更なる地域愛（誇り）の創出にも至っている。



住民参加でハーブ栽培



レモングラスの収穫



ピザハウスの運営

第8回「ゆめづくりまちづくり賞」（優秀賞）

多世代の住民組織がささえる高野山ろうそくまつり

＜和歌山県：高野町青少年団体連絡協議会＞

町外に出た若者が年に一度地元に戻る場を作ろうとの目的で、高野山信仰の中心的聖地である奥の院の参道にろうそくを灯して祈りをささげる「ろうそくまつり」を毎年8月13日に開催している。これまで42回開催され、回を重ねるうちに参拝者が増え、今や約2万人が集まる夏のイベントとして定着するとともに、「祈りの高野山」として地域をPRする機会ともなっている。

行政、警察、消防だけでなく地域住民も積極的に参画され、小学生からリタイア世代まで多世代間の交流の場となっているとともに、この住民同士のつながりがまちづくりの基盤となっている。また、実行委員長が毎年交代し、地域と連携しながら運営する仕組みとなっており、この仕組みが地域交流を継続させるとともに、円滑な世代交代を成しえている。



祈りの高野山



子ども達がろうそくを配布



参加者がろうそくに願いを込める

第8回「ゆめづくりまちづくり賞」（奨励賞）

限界集落を転じて、元快集落（元気で快い集落）を目指す。

＜京都府：南丹市日吉町中世木区（新矢隆志）＞

高齢化過疎化が進み集落存続の危機が叫ばれるなか、集落に活気と和を取り戻そうと、ひな壇に見立てた未耕作地の棚田に子供が喜ぶ巨大雛を配するイベント「棚田ひなまつり」を実施している。このイベントは、全住民が強制ではなく自発的に参加するおもてなしイベントとして定着しており、イベントに参加する来訪者が、地域住民に誇りと絆を芽生えさせ、限界集落に前向きな意識を生み出している。

また、同時に開催する婚活イベントで成立したカップルが入籍したり、「集落の元気がいい」「棚田がきれい」などの理由から2組の夫婦が空き家に入居するなど、過疎化対策の効果が見られる。

地域で雑草と言われた絶滅危惧種の「セツブンソウ」に目を向け、公開することで600名が当地区を訪れるようになるなど、地域の魅力を再発見している。



棚田ひなまつりの様子



セツブンソウの鑑賞



地域の誇りと絆が醸成

第8回「ゆめづくりまちづくり賞」(奨励賞)

歴史薫るこのまちで今よみがえる“坂越の嫁入り”

<兵庫県:坂越のまち並みを創る会>

伝統的な古いまち並みが残る坂越において、昔ながらの嫁入り「坂越の嫁入り」など伝統行事を復活させることにより、お年寄りには懐かしさを、子供たちには伝統を、周辺のまちには魅力を伝えている。また、まち並みの再生のため、散策コースを整備し、パンフレット作成やボランティアガイドなども実施することで、歴史的環境を守り、作り、育てている。

こうした活動から地元の理解も深まり、古民家を活用したカフェ・スイーツ・雑貨店・お食事処の各店舗がまちの一員として加わるなど効果が見られる。

気象の勉強会をする「坂越っ子星空探検」など住民参加型イベントも、公的機関に頼らず自主財源(寄付)のもと多数開催しており、老いも若きも語り、喜び、力を合わすことことで、住民の愛着心が醸成されている。



復活した「坂越の嫁入り」



古民家を利用したカフェ



坂越っ子星空探検